

0. 企画内容

ねらい

現在修学旅行の事前学習として京都・奈良に修学旅行に来ようとしている児童生徒、引率教員から「京都・奈良に関する様々な質問」が寄せられてきています。もちろんインターネット上には京都・奈良に関するサイトもありますが、内容が小中学生向けにわかりやすく紹介された適当なコンテンツが少ないという部分もあります。またインターネットを利用した交流活動も盛んですが、交流活動で用いられる様々な手段の問題点、事前事後の指導、問題解決への道も整理されていません。

つまり、修学旅行生ならびに引率教員が本当に必要としている情報を「生徒の目線で感じた情報」として蓄積した「修学旅行コンテンツ」サイトが必要なのです。

自分たちが調べた内容をコンテンツとして作成する作業は、かなりの労力、時間がかかります。また、離れた地域間の交流活動を進める上では学校間の協力による準備、有効な運用方法を確認しておかなければなりません。このような点を踏まえて修学旅行を軸にして学校間交流を実際に進める上での可能性と問題点の指摘ができるような企画とします。

他地域でも同様なコンテンツ作りを推進していくことで、継続的で全国的な広がりを持たせることができると考えます。当然他の教科でのネットワークを利用した活動にもフィードバックされていくと考えられます。

1. 企画の成果目標

- ・ 『修学旅行』を軸にした京都、奈良にある学校の児童生徒、教員と、修学旅行生、引率教員らによる情報交換、交流活動。Web 掲示板やメーリングリスト、テレビ会議システムを利用する。
- ・ 交流活動において起こり得る問題点の整理、事前指導、事後の解決方法をまとめる。また、テレビ会議などを利用する際に技術的な問題点についても言及する。
- ・ 児童生徒による児童生徒のための「修学旅行ポータルサイト」を作成する。特にポータルサイトとして扱うべきコンテンツの整理を行い、これを成果とする。
- ・ 「修学旅行ポータルサイト」の作成を通して、継続的、効果的、なるべく簡便にコンテンツを作成する為のサーバ環境を開発する。更に倫理的マナー的な問題を未然に防ぎ得るコンピュータシステムの構築に言及する。

2. 実践参加メンバー

実践に参加するメンバーとして、受け入れ側の「京都・奈良サイド」と訪問する側の「愛知サイド」とに分けます。

京都・奈良サイド

立命館中学校・高等学校	文田明良・脇田俊幸（情報教育部）	京都市南部地域担当
奈良県立大淀高等学校	杉崎忠久	奈良県地域担当
日産学園京都校	竹中章勝	京都府南部地域担当
日産学園京都校	生徒有志	京都府南部地域担当（生徒有志）
立命館中学校	情報メディア部	京都市南部地域調査担当（部活動）

愛知サイド

愛知県半田市立亀崎小学校 丹波信夫 修学旅行引率教員として参加

3. スケジュールと実施内容

実践を3段階（準備段階、発展段階、完成段階）に分けたいと思います。

第1段階（7月下旬まで）

この段階を実際の交流活動を進める前の準備段階と考えます。

京都・奈良サイドでは、以下の実践準備活動を展開したい。

- ・ 自主ドメインを取得してとりあえず『修学旅行お助けサイト』（仮称）を立ち上げ、資料提供方法を構築。とりあえずの情報提供を始める。
 - 大まかな京都・奈良の観光地を図示した地図作り。
 - 現在存在する修学旅行生向け URL を集め、リンク集にする。
 - 学校の近隣を探索し、できる限りの情報提供ページを作成する。
 - 修学旅行先でのマナーとルールを集め整理する。
- ・ 地図作り、リンク集、近隣の情報提供ページを作成することで、生徒の web ページ作成スキルの向上をはかる。
- ・ 観光地を web 教材として紹介するときの問題点（著作権、パブリシティ権など）の洗い出しとその解決プロトコルの構築をはかる。
- ・ テレビ会議システムや、その他の情報提供ツールについて導入準備を行う。

愛知サイドでは、以下の実践準備活動を展開したい。

- ・ 引率教員側の思うねらい、修学旅行先でわかまえるべきマナーの聞き取り。
- ・ 児童の欲しい情報（ニーズ）の掘り起こしと、情報提供。

第2段階（9月初旬から10月下旬まで）

この段階では、愛知サイドの修学旅行の計画作りに対して京都・奈良サイドから迅速かつ正確な話題、アドバイスを提供していく今回の実践の中核をなす時期と考えます。

- ・ 教員を中心にした要請、提供に関わる綿密な打ち合わせを行う。
- ・ 実際に修学旅行の計画作りに必要な情報の要請（愛知サイドの児童を中心に）に基づき、伝え方を考えた話題、アドバイスの提供（京都・奈良サイドの生徒を中心に）を行う。
- ・ 話題、アドバイス提供のために、メーリングリスト機能を活用したヘルプデスクを構築する。（京都・奈良サイド、設置は教員を中心に、活用は生徒を中心に。）
- ・ ヘルプデスクのためのメールボランティアを募集する。（京都・奈良サイド）
- ・ テレビ会議を利用した交流活動をすすめ、有効な点や問題点を洗い出す。
- ・ 10月31日、11月1日の亀崎小学校の修学旅行においてオフラインミーティングを行う。

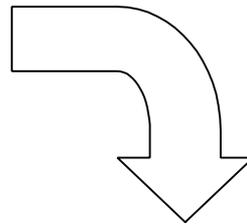
第3段階（11月中旬から12月）

この段階は交流実践をまとめる時期と考えます。

- ・ 以下の観点から交流実践・『修学旅行ポータルサイト』のまとめをします。
 - 交流活動において有効だった手段と注意・改善すべき点を洗いだし、まとめます。（愛知サイド、京都・奈良サイドともに）
 - 今回の実践を通して、情報を収集して、まとめ、情報提供するまでの一連の流れをスムーズにするための手順はどうあるべきかを考えます。（京都・奈良サイド）
 - 利用しやすい『修学旅行ポータルサイト』とはどうあるべきかを考えます。（愛知サイド、京都・奈良サイドともに）
 - 次年度以降の『修学旅行ポータルサイト』の展開を考えます。

第1段階（7月下旬まで）

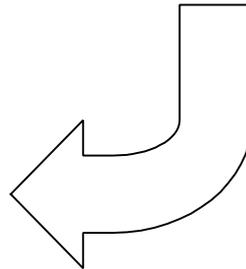
- ・ とりあえず『修学旅行お助けサイト』（仮称）を立ち上げ、情報提供を始める。
- ・ 地図作り、リンク集、近隣の情報提供ページを作成 参加生徒のスキル向上
- ・ 観光地を紹介するときの問題点の洗い出しと解決手段の構築
- ・ その他準備作業



修学旅行.net
企画進行図

第2段階（9月初旬から10月下旬まで）

- ・ 修学旅行の計画作りに対し話題、アドバイスを提供 綿密な打ち合わせが必要
- ・ 要請に基づき、伝え方を考えた情報提供
- ・ メーリングリストを活用したヘルプデスクを構築 情報源の確保 メールボランティアを募集
- ・ テレビ会議を利用した交流活動を進める。
- ・ 10月31日、11月1日の亀崎小学校の修学旅行においてオフラインミーティング
- ・ 適宜有効点や問題点の洗い出し



第3段階（11月中旬から12月）

交流実践・『修学旅行ポータルサイト』のまとめをします。

- ・ 有効的な手段と注意・改善すべき点
- ・ 情報収集、まとめ、情報提供までをスムーズに行うやり方
- ・ 利用しやすい『修学旅行ポータルサイト』とは？
- ・ 次の『修学旅行ポータルサイト』の展開